

向陽台サッカースポーツ少年団

平成29年度 父母説明資料

団の組織など

- 団 長 井田 正裕 副 団 長 稲垣 哲夫
梅本 功
 - 監 督 梅本 功 助監督 土岐 貴徳
 - 強化部長 海老 昌則 ヘッドコーチ 浜辺 浩太
 - 高学年(4～6年)担当 浜辺 浩太 (主担当)
嵯峨 康彰・小野寺 大
 - 低学年(園児～3年)担当 稲垣 哲夫 (主担当)
駒形 和彦・小田 悟・宮城 直志・梅本 功
- ※ 非常勤コーチ除く

活動の目的

サッカーを通じ、社会生活に最も必要な**共同協力の精神**を養い、**身体を鍛え、強く生きる**青少年の育成



- 指導者、父母、他団員へのリスペクト
 - 助け合う心の醸成
 - 自分で決め、自分が実行する力
- ※ 一生サッカーが好きな人間作り(by 梅本)

各大会の位置付

- 全道大会へつながる大会
選抜された者により全力で勝利する
- その他の地区主催大会
全員が参加し勝利を目指す
- 長期リーグ(U-12を除く)・交流試合
全員が出来るだけ同じ時間試合に出場しスキルアップを目指す

サッカー以外の活動

- 1 登山(年2回程度)
- 2 キャンプ・炊事遠足
- 3 マラソン(日航・焼き肉大会時)
- 4 社会貢献活動(ボランティア等)

※ 団焼き肉大会(8/5)

チーム編成

- 6年生(U-12)
 - 地区大会等:6年、5年・4年一部(13名)
 - 地区リーグ:6年、5年、4年一部(17名)
 - ※ U-12チャレンジリーグは不参加
- 5年生(U-11)
 - 地区大会等:5年、4年、3年一部(14名)
 - 地区リーグ等:5年、4年(12名)
- 4年生(U-10)
 - 全ての試合:4年、3年(13名)

チームスローガン

• 正面突破・圧倒的な努力

チーム・個人として、どこまでも得点を追求して行くことを目的として活動する



そのためには、試合中・練習において誰もが認める努力、頑張りを求める

指導目標

- S、状況判断の習慣づけと的確な判断能力の向上
 自由な発想で、主体的な判断とプレー ⇒ 各学年を通じ
- 1、体を動かすこと
 「行動欲求」を満足させる。⇒ 園児・1年
 - 2、できるようになること
 「達成感」をもたらす ⇒ 1年・2年
 - 3、仲間やコーチに認めてもらうこと
 「認知」される喜び ⇒ 3年・4年
 - 4、勝つこと(ライバル、試合)
 「勝利」の満足感 ⇒ 4年
 - 5、仲間やコーチと協力すること
 「一体感」の喜び ⇒ 4年・5年
 - 6、自分自身に勝つこと
 「努力」が実る喜び ⇒ 5年・6年

自立した、考えて行動できる団員の育成のための取り組み

1. あいさつ・返事・片付け・整理整頓(全学年)
サッカーより大切なものと思って実行して行こう。
2. 練習・試合に必要な用具の準備(全学年)
スパイクやユニホーム等、自分が使うものは自分で用意しよう。
3. サッカーノートを書く(全学年)
サッカーノートに次の内容を記入し、将来の自分に必要な情報を残そう。
 - a 練習のとき、コーチに習った大事なこと
 - b 試合の前に:(チーム・個人として)「やるべきこと」と「やりたいこと」
 - c 試合の後に:bで挙げたものの結果と大切だったこと
4. 各種大会等での父母の不帯同(4年生以上)
父母は団員の送迎とチームテントなどの搬送のみで、チームテントなどの準備はコーチ等の指導により自主設置する。団員は、水、弁当や用具など自主管理する。
※ 応援は精一杯してください。子供たちの一番の楽しみです。

父母の皆様へ

- いつでも子供のファンでいてください
怒ったり、プレーに注文を付けるのはコーチに任せて
- 応援の声は大いに結構
ポジティブな声援をお願いします。審判の判定に関する批判などは必要ないと思っています。
- 子供は何でもできます
だから、明日の試合の準備の心配はいりません
- 良い見本でいてください
試合会場ばかりでなく、いつでもあなたたちが見本です

体罰等について

- 日本サッカー協会をはじめ、各方面から通達やガイドラインが発出されている状況

体罰はもとより選手の尊厳を傷つけたり、脅威を与えるパワーハラスメント、セクシャルハラスメントやいじめの発言・行動等を行なわない。

各指導者へ徹底
父母からの情報提供

コーチについて

- 全員がボランティアコーチです
仕事、地域貢献、家族サービス……
色々な事をやっている中での活動です。

↓

問題・不満があるときは、梅本へ連絡して下さい。

↓

言いつらいとは思いますが